

I C T 学習教材コンテンツ活用実践事例

		学校名	県立むつ養護	学校
授業について	教科領域名 (✓又は■で記入する。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数・数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 外国語・外国語活動 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作・美術 <input type="checkbox"/> 体育・保健体育 <input type="checkbox"/> 技術・家庭 / 職業・家庭 / 職業 / 家庭 <input type="checkbox"/> 特別の教科 道徳 <input type="checkbox"/> 総合的な学習（探究）の時間 <input type="checkbox"/> 日常生活の指導 <input type="checkbox"/> 生活単元学習 <input type="checkbox"/> 作業学習 <input checked="" type="checkbox"/> 遊びの指導 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
	単元(題材)名	絵を動かして遊ぼう		
	単元(題材)の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・絵の書き方や絵を動かすことが分かる。 ・学習で使わないアプリを起動しない約束を守る。 		
学習集団と実態	学部・学年・人数	小学	部	5. 6 年 5 人
	本単元(題材)における学習集団の主な実態	<ul style="list-style-type: none"> ・iPadの名前や動画などの見方を理解している。 ・一人でアプリを起動したり、好きなアプリを探したりすることには支援を要する。 ・やり方を覚えると一人で使うことができる。 		
I C T 活用について	使用した支援機器・教材の名称	iPad、AppleTV、プロジェクター		
	使用したアプリケーションの名称	Viscut、スクリーンショット (iPad) 写真 (iPad)		
	主な活用の用途 (✓又は■で記入する。)	(複数選択可能) <input type="checkbox"/> コミュニケーション支援 (<input type="checkbox"/> 意思伝達支援 <input type="checkbox"/> 遠隔コミュニケーション支援) <input type="checkbox"/> 活動支援 (<input type="checkbox"/> 情報入手支援 <input type="checkbox"/> 機器操作支援 <input type="checkbox"/> 時間支援) <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援 (<input checked="" type="checkbox"/> 教科学習支援 <input checked="" type="checkbox"/> 認知発達支援 <input type="checkbox"/> 社会生活支援) <input type="checkbox"/> 実態把握支援		
	I C T 活用のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル上で簡単に絵を描ける。 ・友達の活動の様子を、AppleTVを通じてプロジェクターで観ることができる。 ・絵の具等の汚れが付かないので、準備や片付けがしやすい。 		
活用の状況と支援	<p>○活用場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人がデジタル作品を制作する機会の設定 <p>○行った支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めての活動では、教師が iPad を操作する様子をビデオで中継し、具体的な操作手順を視覚的に知らせる工夫をした。 ・個別に机間指導し、児童が作りたいこと・したいことを聞き取って操作方法を覚える指導をした。 ・アプリを使うことに慣れた頃には、教師が児童の様子を AppleTV で中継し、他の児童が友達の様子を見て活動意欲が向上するように配慮した。 <p>○児童の様子・変容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他アプリ（ネット）などを同時起動し、参考にしたい画像を見てイラスト作品の参考にしようとする姿も見られた。 ・基本的な操作方法を覚え、起動から制作、保存を一人でできるように習熟した。 ・作品を紙に印刷したものを鑑賞し、友達が制作した作品（絵）に興味を示すようになった。 ・約束を守りながら、iPadをおもちゃとしてではなく、学習のツールとして活用しようとする情報モラルの定着ができた。 			